

比田勝港については、先ほどもお伺いしましたので、結構です。

博物館建設後の駐車場についてですが、観光バスのみではなくて、レンタカーとか自家用車等とのそういったすみ分け、これまでは旧幼稚園跡は観光バスが専用でしたが、博物館建設後は広く、観光バス、レンタカー、自家用車等も駐車場の提供が必要と考えられますが、やはりここも管理人、あるいはゲート等のそういったことをしなければ駐車スペースはとれないんじゃないかなろうと思いますので、十分御検討いただきたいと思います。

時間が参っておりますので、途中ですが、有人国境離島につきましても、ジェットfoilにつきましても、前向きに進んでおるということですが、ただ、国境離島運賃については、対馬を含む3市2町じゃなく、有人国境全国の自治体と、あわせて奄美、小笠原諸島措置法のほうとの関係がございますので、そういった方々とのやはり協議会等を設置して、奄美、小笠原が平成26年に措置法の改正があつておると思うんですけど、もうそれから4年たつてもできていないわけですから、なかなかこの観光客の運賃低廉化は厳しいものがあると思いますが、谷川先生も頑張ると言っていておられますので、どうか一生懸命頑張ってくださいと思います。議会も特別委員会で頑張りたいと思いますので、よろしくお願いします。

私は、ちょっと時間が過ぎておりますので、同僚の初村議員と交代させていただきます。ありがとうございました。

○議長（小川 廣康君） 新政会、14番、初村久藏君。

○議員（14番 初村 久藏君） どうも皆さん、こんにちは。新政会の初村久藏でございます。会派代表の山本議員が質問いたしましたので、私もそれに関連質問をしたいと思いますので、よろしくお願いします。

関連質問を通告に従い、巖原地区の観光資源の整備とトレッキングコースの整備についてお尋ねをいたします。

現在、韓国からの観光客は年々上昇して、本年10月末で29万8,000人、昨年度比伸び率141%と伸びております。韓国観光客のうち、日帰り観光客が、これは平成25年度の統計で、約44%と推計されています。今年10月末の来島者に換算すると、約13万1,300人の方が日帰りで帰られています。せっかく対馬へ観光で来島されるので、1泊でも滞在できる環境、観光地資源の掘り起こし、整備が必要と思われませんが、考えを伺います。

次に、巖原市街地の観光については、「ぶらり巖原：宗家10万石の城下町をゆく」というすばらしいパンフレットができております。それには観光ガイド、要項等、詳しく説明をされていますが、この観光ガイドコースが3つほどありますが、外国人、日本人の利用状況と今後の取り組みについてお伺いをいたします。

次に、トレッキングコースの整備について、「対馬トレッキングガイドブック～国境の島・対

馬の山々を歩く～」という冊子にも詳しく記されております。対馬の名山として、上県町の御嶽、美津島町の白嶽、厳原の有明山、龍良山と四名山があり、ほかにも魅力ある山々が対馬には多くありますが、登山道の整備について、今後の取り組みについてお伺いをいたします。

以上、3点についてお伺いいたします。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 新政会、初村議員の質問にお答えいたします。

対馬にお越しいただく観光客に対馬の自然や歴史、文化等の魅力に触れていただき、一人でも多く宿泊していただくという思いは、議員の思いと全く同じでございます。宿泊客を増やすという観点では、宿泊施設不足の解消策といたしまして、宿泊施設誘致の取り組みを行ってきたところでございます。平成29年には、厳原に2施設、比田勝に1施設、大きな施設がオープンしていただきました。また、美津島や上対馬にも別の宿泊施設の建設も予定されており、宿泊客への環境は、かなり整備されてきているところでございます。

もう一泊させるための取り組みといたしましては、ことし4月から施行されております有人国境離島法の関連事業におきまして、島内の体験メニューをさらに組み込んでもらい、販売していただくなどの取り組みも進めております。

対馬観光物産協会の中に設置しております観光ガイドの会「やんこも」の活動実績につきましてでございますけれども、現在18名の会員さんがおられ、ガイドの養成に対して活動をしていただいております。

平成28年度の活動実績としましては、厳原市内の町歩きに対するガイドが66件、トレッキングガイドが23件、その他砲台めぐりやバスツアーに対するガイドが41件など、年間139件、1,541名を対象にガイドを行っております。ほとんどが日本人観光客の御利用でございましたが、平成29年度は、少数ではございますけれども、韓国人観光客や中国人観光客からの依頼も出ているようでございます。

次に、トレッキングコース、登山道の整備についてでございますけれども、現在、韓国人観光客が多く利用されています、白嶽や有明山につきましては、定着している登山ルートがございますので、現登山道の案内板の設置に取り組んでいるところでございます。特に有明山におきましては、林野庁によりまして、平成21年にレクリエーションの森に設定されていることもあり、地元森林管理所や県林業課、市民団体で構成する協議会を設立し、安全対策や事故防止対策に係る点検や案内板設備、修景、伐採などに取り組む計画づくり等を行っているところでございます。

また、他の山岳におきましては、現在、策定中であります観光基盤整備計画において、尾根伝いに歩く縦走路を含め、整備の方向性を検討しているところでございます。

○議長（小川 廣康君） 14番、初村久藏君。

○議員（14番 初村 久藏君） ありがとうございます。

それで、韓国人観光客の件ですけど、宿泊施設等は整備をされております。上対馬のほうにもホテルもできて、巖原のほうにも大きなホテルができております。その関係でありますけど、何しろ、今現在、韓国人の観光客あたりは50%から60%ぐらい日帰りしているんじゃないでしょうかというような話も聞いております。これをやっぱり1割でも2割でも泊めるような方向ちゅうたら、やっぱり観光施設の整備が、私は大事だと思います。特に韓国人はトレッキングが好きだと聞いておりますので、トレッキングコースも白嶽からこう尾根伝いに伝って上見坂まで登って、上見坂公園を見て、それから尾根伝いに有明山まで登る。それから有明山から龍良山、その辺にこう尾根伝いに行って、龍良山の旧道ば今度は尾根伝いに伝って、鮎もどしのほうに帰ってくるというような、そうしたらやっぱり一日近くの時間が要するっちななかろうかと思いますが。やっぱりこのような計画をもって、少しでも滞在できる、させるような方策をひとつ練ってもらいたいと思います。

それと、私、この前、上見坂公園にちょっと登ってきました。そこには石碑、そういうのが4個か5個かあります。その関係で一つ文学碑で、もうちょっと見えにくいとがあるとですよ。この石碑にこう刻んであるやつが字が読みにくいようなとがありますので、そういうとはやっぱり整備する必要があるっちななかろうかと思いますが。文学碑、何か有名な人かどうか知りませんが、有名な人やけ、やっぱりそういうような石碑があると思いますので、そのところをちょっと研究してみてください。

それと、豆靨崎まで行ったんですけど、できればやはり白嶽も今は余り使われてないような感じですよ、そういうバスあたりもですね。もう今トンネルができたけ、直接もう小茂田のほうに行って、白嶽はやはり対馬でも景観はいいところですけど、あそこはやっぱり上見坂の公園を利用するような格好で、そこを通過して小茂田、それからできればもう久根方面を通過して豆靨崎まで行って鮎もどしを通るといようなコースやったら、半日かそこらぐらいのあれはできると思いますよ。またそういうところもひとつ組み込んで、研究してもらいたいと思います。

以上です。それに何かあれば。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 大変ありがたい御質問をいただいたというふうに思っております。私自身もこの対馬の全島にそういった縦走路を整備していきたいと常々申しております。議員さんがおっしゃられるように、せめてそのうちのどこかの縦走路に4時間でもかかるコースをつくれれば、絶対一泊をせんばいかんというふうになるかというふうに思っておりますので、このことにつきましては、私も今後も力入れて整備をしていきたいというふうに思っております。ありがとうございます。

○議長（小川 廣康君） 14番、初村久藏君。

○議員（14番 初村 久藏君） ひとつ、ぜひ取り組んでもらいたいと思います。

それと、厳原市街地の観光でございますけど、これには、「ぶらり厳原」このパンフレットには、ガイドにある清水山城、先ほど船越議員さんのほうからも質問がありましたけど、清水山城に登り口がはっきりせんような感じもいたしますので、それと、今、八幡様のところから上がるルートと、今、博物館つくろうというあそこから上がるルートと2つあると思います。そこをやっぱりわかりやすく、三の丸まではある程度の年齢の人も上がられると思いますけど、一の丸までは高齢者はちょっと無理かと思いますが、そのところをこう緩やかに急なところは手すりでもつけてやるとか、そういうふうなことでひとつお願いをしたいと思います。

このガイドの活用方法は、今聞きましたけど、なかなか邦人が利用しているということがございますので、ぜひこれを大きくして、やっぱり観光客が対馬に来島できるような整備をお願いしたいと思います。

私の質問は以上でございます。もうあとは春田議員に任せたいと思いますので、よろしく願います。どうもありがとうございました。

○議長（小川 廣康君） 新政会、4番、春田新一君。

○議員（4番 春田 新一君） 皆さん、こんにちは。大変こう、私たちの会派80分ということで、12時を昼の時間を過ぎますが、私の持ち時間で時間いっぱい使わせていただきます。新政会の春田新一でございます。今回は、会派代表質問の関連ということで、ここに立たせていただいております。市長、答弁は自席から結構ですので、時間がありませんので、答弁は読み上げなくて結構でございます。よろしく願いいたします。

韓国の観光客が対馬來訪最多ペースということで、新聞報道がなされております。ことし1月から9月までの入国者数は27万4,612名ということで、前年度同期より49%の伸び率になっているというような報道がなされております。今年度、年度末までは30万人を超えるペースであろうかというふうに思っております。その中で、この観光客の資源の整備と方針計画についてお尋ねをするわけでありますが、先ほどから会長の質問にもありました。また、初村議員の質問にもありました。同僚の議員の質問で答えが一緒になるときは、割愛されて結構でございます。

私は、特に、北の玄関口、比田勝港からの北部ルートの整備ということで、今回はやらせていただきますが、時間が限られておりますので、進めさせていただきます。

市長も御存じのように、比田勝港から戸ノ崎、三宇田、あるいは今度は韓国展望所、鰐浦、それを過ぎていって、先ほど山本代表も申しあげましたように、千俵蒔、御嶽というようなルートが北部では考えられるわけですが、先ほど市長の心ある答弁を私はちょっと聞いておりました。